

令和2年3月26日

士別市長 牧野 勇 司 様

士別市子どもの権利救済委員会
委員長 野 中 英 樹

市内公園の春季開園時期に関する提言書

本委員会では、士別市における子どもの権利保障の充実という観点から、士別市都市公園(特に、街区公園及び遊具等の施設を備えた都市緑地。以下「公園施設」と言います。)の春季開園時期について、以下のとおり提言致します。

第1 公園施設の重要性

子どもには、心身が健康に成長する権利があります。また、心身が健康に成長するために、余暇や休息を持ったり、遊ぶ権利があります。この点は、児童の権利に関する条約(子どもの権利条約)の中でも子どもの権利として明示されているほか、士別市子どもの権利に関する条例においても、「ゆたかに育つ権利」として「学び、遊び、休息すること。」が挙げられています(条例6条1号)。

公園施設をはじめとする公共施設は、子どもの日常的な活動の場であり、自由に遊びゆたかに成長する場として、上記の権利を実現させるために重要な意味を持っています。また、子ども同士のコミュニケーションの場でもあるほか、子どもの居場所としても不可欠なものです。

そのため、子どもの権利に関する施策を実施し子どもの権利保障に努める義務を負っている行政としては(条例13条)、子どもたちがより公園施設を利用しやすいよう施設の維持管理を行っていく責任があります。

特に、冬季の積雪量が多い本市においては、短い無雪期に子どもたちが存分に外遊びできるよう努めなければならないと考えられます。

第2 春季開園時期に関する実態

しかるところ、本市においては、例年、5月を過ぎて周辺の残雪がなくなった後も、なかなか公園施設が開園されない状況が続いています。

この点、本委員会において、平成31年4月下旬から5月上旬にかけて公園施設の状況調査を実施しました。

その結果、別紙のとおり、周辺にはほとんど雪がなくなっていたにも関わらず、調査

を行った多くの公園施設内に残雪が確認されました。また、地面には多数の小石やガラス破片を含むゴミが多数散乱していた上、遊具は雪囲いがされたままとなっており、公園施設を利用することが到底不可能な状態でした。数か所の公園施設においては、利用者が勝手に遊具の雪囲いを外した形跡が見られましたが、別紙のような地面の状況もあり、安全に遊べる環境とは言い難いものでした。

このような状況は、冬の間公園の利用実態(道路除雪後の雪置き場として使われている等)を踏まえても、決して仕方がないものとは言えません。

なお、これまで一部の公園施設に関しては雪割り作業などが実施されているようですが、前述のような公園施設の状況に鑑みれば、より積極的な取り組みが求められることは明らかと言えます。また、今回の調査時にほとんど残雪がなかった公園施設も他の公園施設と同様に開園準備が進められておらず、遊具に雪囲いがされたままになっていました。

こうした実情を踏まえると、管理者である士別市として、公園施設の早期開園に関する認識・意欲が不十分であると考えざるを得ません。今一度、子どもの権利に関する条例を制定している意義を考える必要があります。

第3 提言内容

そこで、当委員会では、子どもの遊ぶ権利を保障するため、市内公園施設が早期に開園し、子どもたちができるだけ長い期間にわたって利用できるよう、利用者の目線に立った、より積極的かつ効果的な取り組みが行われることを要望します。

同時に、地域においても、こうした意識が浸透し、子どもがより暮らしやすい環境が整備されていくことを望みます。

これをきっかけとして、公園施設の早期開園にとどまらず、士別市としての活動全般(子どもに関わる施策に限らない)において、子どもの権利に関する条例の趣旨を十分踏まえた一層の取り組みが行われることを期待する意味もあり、本提言を行う次第です。

以上

(別紙)

■調査日:平成31年4月30日

□場所:東山児童公園





地面には、小石や砂利が散乱していた。一部の遊具は、利用者によってロープが外された形跡があった。残雪はほとんどなく、開園に支障はないように思われた。

□場所:あけぼの公園





雪が多く残っていた。地面が露出した箇所には、多数の砂利や小石が散乱していた。

□場所: 西香園





雪が多く残り、地面が露出した箇所には小石やゴミが散乱していた。
遊具は冬前に撤去されたまま、未設置であった。

□場所: 弥生緑地公園





雪はほとんど残っておらず、開園に支障はないように思われたが、遊具は雪囲いがされたまま(あるいは撤去されたまま)の状態であった。利用者によって、一部の雪囲いが取り外されていた。

□場所:あおば児童公園





雪が多く残り、地面にはごみや小石、ガラスの破片などが多数散乱していた。一部の遊具は、利用者が雪囲いを取り外した形跡があった。

□場所:南郷児童公園





周囲にはほとんど残雪がないにもかかわらず、大量の雪が背丈ほどの高さまで積み上げられていた。

■調査日:令和元年5月4日

□場所:あすなろ公園





残雪はまったく残っていなかった。地面には小石やゴミが多数散乱し、遊具の雪囲いもされたままとなっていた。

以上